

暑中お見舞い申し上げます

# ラベルニュース

No402

東京都ラベル印刷協同組合  
☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

平成 30 年 7・8 月合併号  
編集:広報・情報システム委員会  
TEL(3866)4561 FAX(5821)6443



清水佳則社長



GP 認定工場になった工場内

## 大東マーク工業がGP認定工場に シール印刷業界では二十社目に

環境問題の世界的な高まりの中で、中小印刷業のために作られたGP認定制度は、すでに三八七社が認定を受けているが、このほど当組合の大東マーク工業が「GP認定工場」として承認されました。シール業界としては二十社目。

GP認定制度は、環境問題に対する社会的要求が高まり、印刷産業も環境に配慮した製品作りが求められていきたためにそこで、日本印刷産業連合会が、印刷業界の環境自主基準「印刷サービスマネジメント基準」として制定したものです。

グリーンプリンティング認定制度（略称・GP認定制度）は、同基準を達成した工場・事業所を認定、環境経営に積極的な印刷関連企業として推奨すると

もに、同基準に適合した印刷製品にグリーンプリンティングマーク（GPマーク）を表示することにより、環境に配慮した印刷製品が広く普及することを目的としています。

GP認定制度は日印産連が認定機関となり、日印産連「各印刷サービスマネジメント基準に基づき、客観的証明により認定を行い、認定マーク（GPマーク）を表示できる制度です。本制度は印刷形式によりオフセット、シール、グラビア、スクリーンの4部門に分かれています。

今回のGP認定制度取得については清水佳則社長は「当社は十年以上前から大手との取引が多かったためISO14000を取得していましたが、大手の取引も少なくなり、ランニングコストも係るため、昨年末にISOからGPに移行しようと、業務支援の清宮企画の清宮さんにお願いを進めてきました。これまでのマネージメントがあったため、予想以上に早く取得することができました。」とその取得の経緯を語っています。

さらに「環境問題は今後緩和されることはありません。印刷物及び特殊印刷物等すべての製造業務に置いて、地球環境に与える環境側面を明確に捉え、関連法規制を順守し、これを推進するとともに、社会的貢献に努めるというのが、当社の環境に対する基本方針です。今後さらには社会に貢献できる環境マネージメントシステムを構築していきます」としています。

今回のGP認定工場は全国で三八七社であるが、オフセットが三〇七社で、シール印刷はまだ二十社に過ぎない。

当組合では前田印刷、弥生印刷紙工、日本ラベル、宣伝プロ、サン技研、そして今回の大東マーク工業で六社目となる。

組合でも今後RPF事業とリンクさせて、組合員のGP認定に向けてさらに啓蒙していくことといたします。

## 日印産連会長に金子眞吾氏が SDGs(持続可能な開発目標)軸に

日本印刷産業連合会は、六月十三日に第三十三回定時総会を開催し、任期満了に伴う役員改選では印刷工業会会長で、凸版印刷代表取締役社長の金子眞吾氏が第十代会長に選出しました。

平成三十年度事業では、国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)を基軸に、日印産連が進めるブランドデザインの活動の充実を図り、持続可能な社会の形成に向けて、印刷業界の社会的責任をさらに高めていくとしている。日印産連ではIGASの開催に合わせて、会期中にFAPGA(アジア印刷会議)を開催し、会場内で日本



新会長の金子眞吾氏

地球環境や気候変動に配慮しながら、持続可能な暮らしや社会を営むための、世界各国の政府や自治体、非政府組織、非営利団体だけでなく、民間企業や個人などにも共通した目標。

### 恒例の組合研修旅行

#### 今年も十月に開催予定

毎年恒例の組合研修旅行は、今年も十月十三日(土)、十四日(日)の一泊二日で伊豆方面への皆済が決まりました。

当日の工場見学については現在検討中ですが、宿泊先はいずれ長岡京急ホテル、翌日のゴルフは「伊豆国際カントリー倶楽部」が決定しており、観光についても現在検討が加えられており、工場見学先と同様近々決定し、今月中には組合員、協賛会に案内できると思いますが、一人でも多くのご参加をお待ちしています。

### 第一一〇回ラベル会

#### 本間専務が優勝!

第一一〇回ラベル会は、六月十九日(火)に、茨城県取手桜が丘ゴルフ倶楽部に於いて開催され、本間専務理事が強豪を抑えて二回目の優勝を果たしました。当日はまさに梅雨の晴れ間となり、何とネット六九

の同スコアが四人になる混戦で、最年長の本間専務理事が優勝し、二位に恩田博氏、三位に平山愛次郎氏となりました。

本間専務理事は「今回から新ハンディになったこととコースが比較的フラットだったこと、そして一緒に回ったメンバーにも助けられた結果です」と喜びを語りました。

■優勝・本間敏道(四九、五三 ㊦三三) ■二位・恩田博(四二、四二 HD 十五ベスグロ) ■三位・平山愛次郎(五〇、四九 ㊦三〇) ■B.M・狐塚昌己(五〇、五二 ㊦二四)



**平成30年度 新・展示会等出展支援  
助成事業 一 販路拡大サポート事業 一  
展示会などの出展に150万円助成  
販路拡大や経営基盤の強化に**

東京都中小企業振興公社では、「平成三十年新・展示会等出展支援助成事業・販路拡大サポート事業」の募集を受け付けています。

同事業は、将来に向けて経営基盤の強化に取り組む都内中小企業者や、経済動向の変化によるコスト高騰等の新たな課題に直面する都内中小企業者に対し、販路拡大に要する経費の一部を助成することにより、

都内中小企業者の更なる経営安定を図り、振興に寄与することを目的としています。

助成内容は都内中小企

業者が、都内商工会議所・商工会等において、平成十九年度又は三〇年度

に中小企業活力向上プロジェクトの経営診断を受け、販路拡大及び経営基盤の更なる強化を図るために行う国内・外の展示会等への出展等に係る経費の一部を助成するものです。

■助成対象期間

交付決定日から、1年1か月以内（最長で1年1か月）助成限度額 150万円（助成金）

■助成率

小規模企業の支払いは、助成事業を完了し公社内での検査・決裁を経た後）者…助成対象と認められる経費の2/3以内（千円未満切捨て）その他中小企業者…助成対象と認められる経費の1/2以内（千円未満切捨て）

■助成対象

自社の製品・技術・商品・サービスの販路拡大を目的とした国内外の展示会

等への出展を対象とし、以下の要件をすべて満たす必要があります。 ※ 自社の

製品・技術・商品・サービスではないもの（販売権を有するもの）の出展は、助成対象外です。

① 展示会の開催主旨が、事業者との商談であること  
② 特定の顧客※を来場対象とする展示会等への出展ではないこと ※ 来場者が主催者の取引先のみの場合や、協会・組合等の構成員向けサービスの一環と考えられるもの等

③ 自社が主催又は運営に携わる展示会等※ではないこと ※ 自社役員・従業員が役員・従業員を兼務している法人等による主催又は運営に携わる展示会を含む

④ 投資関連商品又は投資家を対象とする出展や展示会等ではないこと  
⑤ 申請事業者が主体の出展であること

⑥ 小間内に申請事業者名又は申請事業者ブランド名が表示される小間であること

⑦ 一般消費者への直接販売は、小間の内外を問わず行わないこと

また、以下に該当する方が助成対象です。  
ア 直近決算期（十二か月分）の売上高が、前期（十二か月分）と比較して減少していること

イ 直近で損失を計上していること  
ウ 平成二十九年度又は三十年度に中小企業活力向上プロジェクト「成長アシストコース」※の支援を受け、修了していること

■申請方法  
申請書の提出 必ず記録が残る簡易書留等の方法で、送付してください。持参、普通郵便、信書を扱わない宅配便、FAX及び電子メール等による提出は、一切受け付けません。

■申請書の入手方法  
申請書類は公社サイトの以下のページから、質問事項に従いダウンロードしてください。

URL : <http://www.tokyo-kosha.or.jp>

kosha.or.jp

## ■このころの病気とは

このころの病気には様々な症状があります。自分で気づきやすい症状と、自分では気づきにくく、家族など周りの人が先に気づく変化があります。自分で気づきやすい症状としては、気持ち落ち込んで自信がなくな

## ■生活リズムや服装の乱れな

ど行動の変化があります。気分が高ぶって、いつになく自信家になったり浪費に走ったりすることも周囲に先に気づかれる変化です。

## ■身体面の症状

このころの病気のなかには、体の症状をとまなうものが決して少なくはありません。たとえば、疲れがとれない、動悸やめまいがする、頭痛がするといったことがこのころの病気でも起ります。

## ■生活・行動面の変化

これまで出来ていたことができなくなる、うっかりミスが増える、服装が乱れてくる、遅刻が増えるなどは、周囲の人が気づく生活・行動面の変化です。このような変化には、本人は意外に気付いていないことがあります。

## No152 健康がいちばん!

### 症状から知るこのころの病気

#### 体力や抵抗力の低下が要因に

を考える有力な手がかりが症状ですが、症状があるからといって病気であるとは限りません。私たちはいつもストレスにさらされながら生活しています。

大きな出来事があれば眠れないこともありますし大切な人が病気になれば気持ちが憂うつになります。これは自然な反応です。健康な人では、何かの症状や変化が出ていても、ストレスが去れば元の状態に戻る力があります。これを復元力(レジリエンス)といいます。この復元力が十分働いているときは病気にはなりにくいのです。

症状が長く続いたり、生活するうえで支障が大きい、つらくて苦しいといった場合には病気の可能性がります。

## ■心理面の症状

物事が思ったように進まないときには、気持ち落ち込んだり、腹が立ってイライラしたり、不安で眠れないことがあります。

本人が気づいていない場合には、「体の具合はどうですか」「何か困ったことがありませんか」などと、本人を気遣う問いかけをしてみるのもよいでしょう。

なったり、必要以上に不安になったり、周りの出来事を自分と結びつけて取り越し苦労をしたりすることなどがありません。そのほかに、体がだるくて疲れがとれない、息苦しいなど、身体面の症状もあります。自分では気づかず周りの人が先に気づく変化としては、

症状が長く続いたり、生活するうえで支障が大きい、つらくて苦しいといった場合には病気の可能性がります。

このように、本人は気づいていない場合、周囲の人に過去の状態と現在の状態を比べる質問をすると変化に気づくことがあります。

本人が気づいていない場合には、「体の具合はどうですか」「何か困ったことがありませんか」などと、本人を気遣う問いかけをしてみるのもよいでしょう。

《参考資料》

<http://www.mhlw.go.jp/>

# 今年のサラリーマン川柳コンクール第1位

## 『スポーツジム 車で行って チャリをこぐ』

第一生命は今年で三十  
一回目となる恒例の『サラ  
リーマン川柳コンクール』  
のベスト10を発表。栄え  
ある大賞は、矛盾（むじゆ  
ん）を面白く詠んだ「スポ  
ーツジム 車で行って チャ  
リをこぐ」（作者…あたま  
で健康追求男・六〇代／男  
性）に決定しました。

同作品は、運動するため  
に通っているはずのジムの  
行き帰りは、車を使うとい  
う様子を自虐的かつコミカ  
ルに表現した作品として

「まさにそのとおり！（20  
代）」「あまのじゃくでクス  
ッと笑えて共感した（30  
代）」「あるあるなのにユー  
モラス。皮肉もあってベス  
ト！（50代）」と年代を問  
わず多くの共感を得た。

今年度は特別企画として  
作品を募った「健康第一部  
門」の効果もあり、健康を  
意識した作品が大賞に選出  
されるなど、人々の健康に  
対する意識の高まりがうか

がえる結果となった。その  
ほか、「顔認証」や「電子化」  
など最新テクノロジーを用  
いた川柳も寄せられるなど、  
サラリーマンの悩みもデジ  
タル化へ。最近の潮流であ  
る「働き方改革」にちなん  
だ自虐ネタもベスト10に  
ランクインした。

「スポー」に紙対応』（トリツキー／  
50代／男性）  
「マジですか」上司に使  
う丁寧語』（ビート留守／  
70代／男性）

「父からは ライン見たか  
と 電話来る』（アカエタカ  
／60代／男性）

「言っただろ！」聞いて  
ないけど「すみません」  
（中っ端／40代／男性）

「減る記憶 それでも増え  
る パスワード』（脳活／二  
〇代／男性）

「ほらあれよ 連想ゲー  
ムに花が咲く』（さっちゃん  
／50代／女性）

年代別でみるサラ川ベ  
スト3  
▽二〇代・三〇代のベ  
スト3  
1位『「ちがうだろ！」 妻  
が言うなら そうだろう』  
（そら／四〇代／女性）

「ちがうだろ！」 妻が言  
うなら そうだろう』（そら  
／四〇代／女性）

「ちがうだろ！」 妻  
が言うなら そうだろう』  
（そら／四〇代／女性）

「ちがうだろ！」 妻  
が言うなら そうだろう』  
（そら／四〇代／女性）

「ちがうだろ！」 妻  
が言うなら そうだろう』  
（そら／四〇代／女性）

「ちがうだろ！」 妻  
が言うなら そうだろう』  
（そら／四〇代／女性）

「ちがうだろ！」 妻  
が言うなら そうだろう』  
（そら／四〇代／女性）

「ちがうだろ！」 妻  
が言うなら そうだろう』  
（そら／四〇代／女性）

「ちがうだろ！」 妻  
が言うなら そうだろう』  
（そら／四〇代／女性）

（株）ムサシ（東京都中央区銀座八・二〇・三六）では、この

ほど小ロットのシールやラベルを簡単操作で効率的に印刷できるプリンター「EDGE850」（iSysLabel社製）を印刷会社やブランドオーナーに向けて発

売しました。また、同プリンターとシール・ラベル用レーザー加工機「Label Express」（GCC社製）を組み合わせ、これから幅広い分野で需要が見込まれるシール・ラベル簡易製作システムとして販売を強化してまいります。

## 小ロット対応の「EDGE850」発売 コンパクト、高速、色品質、低価格メリットに レーザー加工機との組み合わせで需要期待



シールやラベルの印刷は、カタログやチラシ等を印刷する既存の商業印刷設備では対応できず、専用機の導入が必要になるものの初期投資が高額であることから、その製作は一部の専門業者に限定されてきました。

しかしながら、多くの印刷会社に対して小ロットのシール・ラベル製作を求め、クライアントが増えているため、商業印刷会社がシール・ラベル印刷分野へ事業多角化を図るニーズが高まってきています。

一方、ブランドオーナー（メーカー）においては、商品に付けるシールやラベルを自社で手軽に製作することでコスト削減を図る需要も増えています。

シールやラベルは様々な商品に使用されるほか、商品のライフサイクルが短くなっている状況もあり、その製作には小ロット多品種への対応や、イニシャルコストの低減などが要望されています。

このたび発売するシール・ラベルプリンター「EDGE850」は、誰でも簡単に扱える操作性を迫及し、①ロールフォールに対応したコンパクトなデスクトップ型、

②最高毎分9mの高速出力、③四色トナーによる優れた色品質、

④低イニシャルコストなど、市場ニーズにマッチしたエントリータイプデジタルプリンターです。

さらに「EDGE850」は、印刷ロール紙の装着が簡単で、プリンター機構部のクリーニングなどの手入れも不要であるなど使い勝手を追求したモデルで、すでに世界各国で高い販売実績を持っています。

同社は、今回の「EDGE850」の発売に先立ち、製造元である「iSysLabel社」と販売代理店契約を締結し、日本市場における同モデルの独占販売権を取得しました。